

SPBIO 2100

- ・ピンスポットタイプの主に研究用途向けマイクロアレイ用スポッター
- ・DNA、抗体などのタンパク質、ペプチド、化合物など様々なサンプルのスポットが可能



SPBIO 2100

特徴

- **研究用途向けマイクロアレイスポッター**
 - ・研究用途向けの小数枚数のマイクロアレイ製造に適した装置
- **高速・高密度のスポットが可能**
 - ・最大30,000スポット/1時間(48ピンヘッド使用時)
 - ・自社開発の高密度対応スポットピンを用いることでスライドガラス上(スポットエリア: 60mm×23mm)に最大43,200スポットが可能
- **高精度スポット**
 - ・設定値からのスポット位置誤差±50 μm以下
- **全自動**
 - ・最大でスライドガラス20枚を搭載した連続自走運転が可能
 - ・MTPは手動で交換
- **多彩なアプリケーションに対応**
 - ・スライドガラス、小型チップ、メンブレンなど各種スポット対象サンプルにスポット可能
 - ・特殊なターゲットへのスポット、使用するMTPや、スライドガラス数の増加など各種カスタマイズに対応可能。

(注) 本製品は研究用の理化学機器であり、医療機器ではありません。

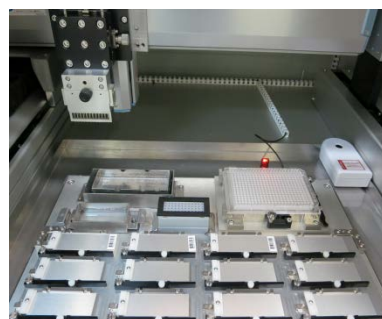
SPBIO 2100 基本仕様

スポット対象サンプル	スライドガラスサイズ(26mm×76mm×1mm、25mm×75mm×1mm)
スポット対象サンプル搭載数	スライドガラス:最大20枚 *1
使用可能MTP	384穴MTP
MTP搭載数	1枚 *2
スポットピン数	1~48本
スポット間隔	100~4500μmの範囲で設定可能
アレイ密度	最大43,200スポット/スライドガラス(約4,400スポット/cm ²)、48ピンヘッド使用時
スポットサイズ	約80~200μm程度(標準ピン使用時) *3
スポットスピード	最大30,000スポット/時間、48ピンヘッド使用時
洗浄乾燥	流水洗浄槽(超音波発振器付)+吸引乾燥槽
推奨使用環境	温度:18~25℃、湿度:30~70%以下(結露なきこと)
サイズ	910mm(W)×900mm(D)×1500mm(H)
重量	300kg
電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	最大300W

- *1 テーブル上のスライドガラスホルダーに配置
- *2 手動で交換可能
- *3 スポット径はスポット対象溶液の成分、装置のスポット動作設定により変化する
さらに小さなスポットや大きなスポットを行いたい場合はオプションの特殊ピンを使用する

【標準添付品】

- ・制御用PC
- ・制御用ソフトウェア
- ・48ピンヘッド



装置内写真 (SPBIO 2100)

【オプション】

- ・高精度スポットオプション(画像認識機能)
 - ・スポット結果確認機能
 - ・特殊ピン
 - ・メンブレン対応
 - ・MTP冷却機能
- など各種相談に応じます

【関連製品】

マイクロアレイスポッター MARKS-T1
(大量生産も可能な全自動機)

マイクロアレイスキャナー KI-Scanner



お問合せは

- 本文中の製品名などは、各販売元または開発メーカーの(登録)商標または製品です。
- このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なることがあります。
また仕様は事前の予告なしに変更することがあります。

KODEN
INDUSTRY CO., LTD.

高電工業株式会社

〒143-0015 東京都大田区大森西2-22-9
TEL:03-3768-5211 FAX:03-3763-9321